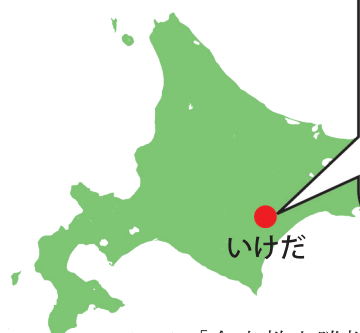


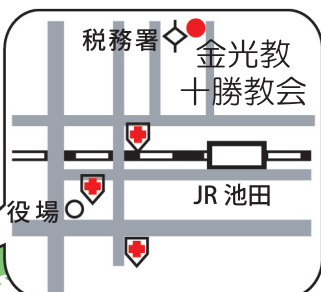
No.80, 2019, Jan.,

1 月・平成 31 年正月号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



Facebook「金光教十勝教会」



金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9

十勝教会 だより 80



facebook



HP(PC 専用)



金光教公式 HP

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>



今シーズンは暖冬の予報ですが、それでも寒い日はマイナス 20 度を下回ります。

二〇一九年、平成三十一年
(己亥)、十勝教会設立九十九年
の新春を迎えました(来年が百
年です!)。
みなさん本年もよろしくお願
いいたします。

二〇一九年・金光教立教百六十年を迎えて

金光教十勝教会

今年四月をもって平成とい
う年が終わり、新しい元号に変
わるというエポックな年ですが、
金光教にとっては立教百六十年
という節年に当たります。



金光教という立教とは、安政
六年(一八五九)、教祖生神金光
大神様(赤沢文治)が天地金乃神
様から「家業である農業を辞め、
神前奉仕に専念せよ」との仰せ
を受け、神様のご用に専念され
ることになったことを指します。
教祖様はその後、明治十六年
にお亡くなりになるまでの間、
広前から出られることなく、参
拝された人々に相對し、「人間

は誰もが天地金乃神様のおかげの中に生かされているのだ」ということを説かれ続けてきました。



以前も書きましたが、天地金乃神様は教祖様へのお知らせの中で

世の中に太陽や月、大地など天地の働きを知らない者はいいない。

しかし、その天地の働きのありがたさを知っている者がいいない。

と仰っています。

私たちは太陽の光、大地の恵みなど天地の働きを知っています。しかし太陽が昇るのも大地

があるのも私たちにとっては当たり前のことであり、それがありがたいことだとはなかなか気がつかないものです。

そのようななかで教祖様は

お天道様（太陽）がお照らしになるのもおかげ

というように、太陽の光一つをとっても、その光のおかげで私たちは生きていくことができるのだ。そういう天地の様々な働きを統べ整えられるのが天地金乃神様であり、天地のことをはじめ神様が整えられた様々な御都合こそ神様の「おかげ」なのだということを説かれてきたのです。



「太陽の光があるおかげ」で生きていくことができる私たち。そのことに感謝しているでしょうか？

私たちは天地の中に生まれ、天地の中で暮らしています。

生きているかぎり、どこに行こうが、何をしようが神様が整えてくれた天地から離れることはありません。

それは、いつでも、どこでも、何をするのも神様の整えられた御都合の中、つまり「神様のおかげ」の中で生き、「神様のおかげ」の中で何事もさせても

らっているというところ
もありません。
しかし天地金乃神様は

人間は神のおかげの中に暮
らし、何事も神のおかげの
中でさせてもらっているの
に、そのことに気がつかず、
自分の都合のいいようにし
ようとしてきたことで自ら
が難儀を受けるのだ。

とも論さとされています。

それならば、私たちが神様の
御都合にあわせた生き方をすれ
ばよいのですが、そのためには
神様の御都合、神様のおかけを
知らなければなりません。

そこで、教祖様は、
普段あたりまえだと思っている

ことが本当はありがたいことな
のだと心がけること。

誰が頼むでもなく私たちのいの
ちを支える働きを整えてくれる
「神様へ常に心を向ける」稽古
をしなければいけない。それが
神様のおかけに気がつけるよう
にはならない。
その稽古けいこを信心と呼ぶのだ教え
ておられます。

信心しんじんということは、しんは
わが心、じんは神なり。わ
が心が神に向かうのを信心
という。

恩徳の中にいても、人間に
信がなければ、おかげはな
い。

とは教祖様が信者さんへお諭さとし

になったものです。

恩徳の中にいても、つまり神
様のおかけの中に暮らしてい
ても、そのことを心がけていな
ければ、なんにもならないとでも
言えはいいいでしょうか。

逆に言えば、神様のおかけに
生かされていることを心がけて
いると、さらに大きな「おかげ」
をいただくことができるのかも
しれません。

今年一年、ちよつとしたこと、
世話になる何ごとにも感謝の気
持ちを忘れずに、神様に心を向
ける稽古けいこをしてみましよう。

十勝教会設立百年記念祭

二〇二〇年七月十二日(日)

十勝教会設立一〇〇年
記念祭奉迎委員会

教会 日 誌

平成30年11月10日から12月31日まで

11月11日 音更町、M家、五十日祭・合祀祭、納骨祭。

11月11日 大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。

11月13日 函館教会大祭、教会長参列。

11月16日 大祭前ご用奉仕、17日も。

11月18日 生神金光大神大祭執行。

11月23日 札幌市、T家、式年祭。

11月24日 釧路市、O家、式年祭。

12月2日 帯広市、M家、式年祭。

12月6日 薫別講社・生神金光大神大祭執行。

12月31日 越年感謝祭執行。



写真 大祭前大掃除



写真 大祭前ご用奉仕
直会料理（上 2 枚）、広前準備（下 2 枚）



写真 生神金光大神大祭
（6、7 ページも）

準備の日を含めおだやかな天気での大祭となりました



祭主玉串奉奠



取次唱詞奉唱



参拝者代表玉串奉奠

教会設立100年記念祭 2022



「立教神伝」奉読・網走教会長



吉備舞奉納



教会長挨拶



教話・玉置千鶴子先生



信徒会代表の挨拶



祭典後の直会宴



お供えした鏡餅の切り分け



大祭後片付け



写真 薫別講社・生神金光大神大祭
皆さんが持ち寄ったお料理でお直会。薫別講社も大譽地講社時代からかぞえて布教 99 年を迎えました。

2019年 十勝教会の主な祭典日程

(日程は変更になることがあります)

○大 祭 (春・秋)

- ・天地金乃神大祭 4月14日(日) 午前11時
- ・生神金光大神大祭 11月17日(日) 午前11時
- ※薫別講社は4月5日、12月5日前後

○霊 祭 (春・秋)

- ・春季霊祭 3月21日(木・祝) 午後1時30分
- ・秋季霊祭 9月23日(月・祝) 午後1時30分

○教会設立記念祭・布教功労者報徳祭・三代教会長三年祭

- ・8月18日(日) 午後1時30分

○感謝祭 (6月、12月)

- ・上半期感謝祭 6月30日(日) 午後1時30分
- ・越年感謝祭 12月31日(火) 午後1時30分

○勸 学 祭 4月1日(月) 午後1時30分

○月例祭 (月次祭) 毎月 1日、10日(霊祭)、21日 薫別講社は毎月5日